

# ソフトウェア開発におけるチーム文化の構築【オンラインライブ】 (4124214)

ソフトウェア開発におけるチーム文化の構築～チームのエラー防止、手戻り削減、問題感知力、創造的解決力等の強化施策。本セミナーではチーム文化（行動原理、思考）を、行動様式、行動の質および結果の質に紐付けて広く捉え、ソフトウェア開発における五つの課題（チームとしてのエラー防止、ステークホルダ間での齟齬の改善、推論力を働かせた課題の解決、プロジェクトリスク発現のコントロール、変化に対応するリーダーシップ）に対応するチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度を定義し解説します。

開催日時	2024年12月17日(火) 15:00-16:00(ライブ配信)
ライブ配信	無料配信となります。
講師	大庭 謙一 氏 【経歴】株式会社システム・エクスプレス 代表取締役社長、2017年10月まで独立して経営者の立場でチームビルドの構築と実践を推進。2018年経営者向けチームビルドをテーマにした書籍「チームビルドの構築と実践」を著す。2020年経営者向けチームビルドをテーマにした書籍「チームビルドの構築と実践」を著す。 【所属】株式会社システム・エクスプレス 代表取締役社長、2017年10月まで独立して経営者の立場でチームビルドの構築と実践を推進。2018年経営者向けチームビルドをテーマにした書籍「チームビルドの構築と実践」を著す。2020年経営者向けチームビルドをテーマにした書籍「チームビルドの構築と実践」を著す。
会場	オンライン配信（Zoomミーティング）
参加費	無料
申し込み	無料
申し込み期限	2024年12月16日(月) 23:59
申し込み方法	このページの「申し込み」ボタンをクリックしてください。
お問い合わせ	お問い合わせ先は、このページの「お問い合わせ」ボタンをクリックしてください。
主催者	株式会社システム・エクスプレス
主催者住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
主催者電話番号	03-1234-5678
主催者メールアドレス	info@juaseminar.jp

## 主な内容

### ■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【[セミナーのオンライン受講について](#)】

### ■テキスト

開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

### ■開催日までの課題事項

特になし

ソフトウェア開発におけるチーム文化の構築～チームのエラー防止、手戻り削減、問題感知力、創造的解決力等の強化施策。本セミナーではチーム文化（行動原理、思考）を、行動様式、行動の質および結果の質に紐付けて広く捉え、ソフトウェア開発における五つの課題（チームとしてのエラー防止、ステークホルダ間での齟齬の改善、推論力を働かせた課題の解決、プロジェクトリスク発現のコントロール、変化に対応するリーダーシップ）に対応するチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度を定義し解説します。

### 主な内容

- チーム・コンピテンシー成熟度とは
- チームとしてのエラー防止
  - 定量的品質管理を推進するチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
  - 異常値管理などによる錯誤・失念・違反の防止
  - 錯誤（思い込み、取り違い）と違反（手抜き）に関わるケーススタディ
- ステークホルダ間での齟齬の改善
  - プロセス品質を統制するチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
  - コミュニケーション・プロセスマネジメントの実践
  - 論点ずれのケーススタディ
- マーケティング技法を応用した潜在ニーズの顕在化と課題解決
- 推論力を働かせた課題の解決
  - 推論力を養うチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
  - 推論力を高め働かせる思考法とケーススタディ
- プロジェクトリスク発現のコントロール
  - リスクマインドなどを高めるチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
  - リスク管理戦略に基づくプロジェクトリスクマネジメント
  - 三段論法（帰納法、アブダクション法、演繹法）を使用したケーススタディ
- 変化に対応するリーダーシップ
  - EQコンピテンシーに裏打ちされたリーダーシップ
  - EQリーダーシップを養うチーム文化のチーム・コンピテンシー成熟度
  - リーダーシップに関わるケーススタディ

#### <参加者の声>

- ・実体験に基づく内容が多かったので大変参考になった。
- ・自組織の組織成熟度を確認するきっかけにすることができると思う。
- ・多岐に渡りチーム文化構築に向けての解説を頂いた。今後、自社の品質活動において少しづつでも取り入れて行けたら良いと感じた。
- ・普段あまり意識しない、課題解決のための思考的なアプローチを多く学ぶことができた。今後、プロジェクトにおいて人間関係で立ち止まったときに振り返ってみたいと思う。
- ・ケーススタディが豊富に用意されており、理論から実践までのイメージがしやすいのが特に良かったと感じた。